

| | | 利用者の主な日中サービスについて | | 利用者に対する地域生活の支援について | | 支援体制の確保について | |
|---|-------------------------|---|--|---|--|---|--|
| | 市町村 | 事業者 | 協議会 | 事業者 | 協議会 | 事業者 | 協議会 |
| 1 | 大網白里市（クロワール） | 食事提供、食事介護、清掃、洗濯、排泄介助、服薬支援、買物、受診同伴、入浴介助、更衣介助、金銭管理、健康観察等。 外部の日中活動サービスの利用者人数は、10名。 | 日中サービス支援型グループホームが本来担うべき、重度の障害者を受け入れており、細やかな支援内容で、生活を支援し、充実したサービスを提供している。 | 春・夏レク、クリスマス会、初詣、カラオケ等。例年は日帰り旅行、納涼祭、みんなのまつり（バザー等）も行っているが、コロナ禍により開催を見送った。 体験の利用等のニーズには対応できていない。（実績なし） | 多くの活動が制限されているなか、活動できる範囲内で適切な支援に努めている。 | 24時間体制で、職員を配置。定時巡回、所在確認の他、食事、清掃、洗濯等生活全般の支援を行えるよう体制を整えている。 | 24時間体制で支援するために必要な職員数を確保している。 |
| 2 | 野田市（ソーシャルインクルーホーム野田上花輪） | 学習支援、買物支援（同行・代行）、通院等介助（定期受診・突発受診）、移動支援（駅までの送迎）、昼食の提供、訪問関係（訪問リハ・訪問理美容・訪問看護） 外部の日中活動サービスの利用者は、5名。 | 感染症の状況を見ながら、利用者本人の希望、障害の状況に合わせた日中活動を進めるよう要望する。感染症対策として、希望者のワクチン接種及びマスクを外す場面の対策をするよう要望する。外部の人との交流ができるような日中活動を計画・実行するよう要望する。土日等、外部の日中活動サービスがない日の余暇活動支援の充実を要望する。 行政手続や金銭管理についての支援を検討した方がよい。 コロナ禍で日中活動に制約がある状況で、月1回の訪問歯科を実施していることは評価できる。 | 職員が同行しコンビニ等での買物及び支払い等、利用者の能力に応じて支援している。車で出かけ、公園で散歩をしている。地域資源の活用として図書館の利用を計画している。 体験の利用等のニーズには対応できている。（自宅にて生活している方が家族の高齢化に伴うGH入居を見据えて体験した。） | グループホームの利用者一人ひとりを人間として尊重し、利用者及び職員がともにストレスなく生活、支援できるような体制の充実を要望する。土日等、外部の日中活動サービスがない日の余暇活動支援の充実を要望する。今後も体験利用の継続を要望する。 社会福祉協議会でニュースポーツ機材の貸出しを行っているので、活用してもらいたい。 | 土日においても平日と変わらない人員配置をしている。 | 土日を含め、利用者の状態に即した必要な支援体制の確保を継続するよう要望する。 |
| 3 | 松戸市（あおば） | 買物、ウォーキング。 外部の日中活動サービスの利用者人数は、37名。 | 入居者全員が外部の日中活動サービスを利用しており、買物同行等、利用者が閉じこもらず外出できるような支援が行えている。利用者は、事業所に通うことを皆楽しみにしているようなので日中の活動が充実していることが伺える。 要望として、今後日中活動に参加できないような重度な方を受け入れた際の支援内容についても改めて検討されたい。 | 休日等、GHに残る方については、移動支援を利用し、外出する機会の確保に努めている。 これまで、10名の方が体験利用された。短期入所により、4泊5日の利用を経験してもらい、GHでの生活を体験することでイメージを持ってもらう。 | 可能な限り外出の機会を作り、住居内で支援が完結することがないよう、支援が行われていきます。 体験利用については、一人暮らしの見極め等、純粋な体験利用を行えている。今後とも地域に開かれた事業所であってほしいと希望する。 | 利用者がいる限り十分な支援体制が保てる支援者を配置している。 | 土日を除く日中については常時の支援体制が確保されていると考えられる。強度行動障害の方への土日の支援内容等、適切な支援体制を行っている旨を説明できるよう助言する。要望として、緊急時に対応できるよう夜間の人員増加を検討されたい。 |
| 4 | 木更津市（オーシャンテラス） | 土日や平日でもGHで過ごすことを希望する利用者又は体調不良で外出が制限される利用者などに対しては、GH内で介護支援を実施し、生活の質の向上を図っている。また、同一敷地内にある芝生広場で、ボール遊びやミニ運動会、バーベキュー、海の見える海岸通りでの散歩散策等、自然を満喫できるサービスの提供をしている。 外部の日中活動サービスの利用者は、19名。 | 引き続き、感染症対策を行いながら支援を行っていただきたい。 | 車でドライブや公園内の散歩、スーパーやコンビニ店での買物支援など、人とのふれあいを大切にしている。（地域内を散歩し、出会った住民に対するあいさつ運動、地域の清掃活動に参加、地区自治会に加入し、地域の行事等に積極的に参加。） 体験利用については、職員資質向上を優先し、当該法人の他GHで体験利用を実施している。 | 引き続き、利用者のニーズに対応した支援に努めていただきたい。 | 国・県の定める基準に従い職員を配置しており、常時支援体制を確保している。 | 引き続き、研修等を通じて、障害者虐待防止・権利擁護について努めていただきたい。 |
| 5 | 八千代市（ソーシャルインクルー八千代村上） | 学習支援、買物支援（同行・代行）、通院等介助（定期受診・突発受診）、移動支援（駅までの送迎）、昼食の提供、訪問関係（訪問リハ・訪問理美容・訪問看護） 外部の日中活動サービスの利用者は、9名。 | 一人ひとりの状況や要望に応じて提供がされていた。また、訪問看護等が取り入れられているなど充実していた。 外部のサービスに通えない場合、GH内では代わる活動が提供されているまでではなく、活動場所等もリビングのみで、食事等の日常生活上の援助や相談対応が概ねの日中サービスとして提供されていた。そのうえで、身体機能の向上及び維持に繋がる活動等を、何人かで一緒に、もしくは個別に、健康的な生活を送るために提供してほしい。個別ニーズに応じた個別支援計画を作成し、心身の健康を念頭においたサービスを提供してほしい。 | 職員が同行しコンビニ等での買物及び支払い等、利用者の能力に応じて支援している。車で出かけ、公園で散歩をしている。地域資源の活用として図書館の利用を計画している。 体験の利用等のニーズには対応できている。延べ人数28名。（自宅にて生活している方が家族の高齢化に伴うGH入居を見据えて体験した。） | 頼まれたものを買ってくるという機会などには、一緒に選び購入するのも大切な選択であるので状況に応じてお願いしたい。 グループホームについて聞いたり、見たりするだけでイメージが持てないケースもあるため、引き続き体験利用等の対応をお願いしたい。 | 土日においても平日と変わらない人員配置をしている。 | 人員の配置はあるとして、同性介助の支援ができる体制がとられていない。 異性による介助について、「双方同意」とのことだが、同性介助を原則とできるような体制確保に努めていただきたい。 |
| 6 | 木更津市（グループホームふわふわ木更津貝瀬） | 食事提供、排泄介助、入浴介助、レク。 外部の日中活動サービスの利用者人数は、20名。 | 引き続き、感染症対策を行いながら支援を行っていただきたい。 | 日中の散歩や買物等の支援を行う。 体験利用は延べ14人。実際のGHでの生活を体験してもらい経過を見て入居に移行している。 | 引き続き、利用者のニーズに対応した支援に努めていただきたい。 | 平日、土日とも支援体制は確保されている。 | 引き続き、研修等を通じて、障害者虐待防止・権利擁護について努めていただきたい。 |

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

| | 地域に開かれた運営について | | 短期入所の併設について | | 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について | | その他 | |
|---|-------------------------|--|--|---|---|--|---|---|
| | 事業者 | 協議会 | 事業者 | 協議会 | 事業者 | 協議会 | 事業者 | 協議会 |
| 1 | 市町村 大網白里市（クロワール） | 例年は納涼祭、みんなのまつり（バザー等）、家族交流会等を行っているが、コロナ禍により開催を見送った。「コロナ禍でもできる事」として利用者の笑顔の写真付きメッセージカードを家族へ送付した。自粛中だったが、利用者家族に喜んでもらえた。 コロナ禍により、実習生やボランティアの受け入れを見送った。例年は、実習生2名程度、ボランティア20名程度を受け入れている。 | 家族等と直接交流を図ることが困難ななか、新たな方法等を工夫することにより、家族との交流が図られている。 今後も家族や地域住民との交流の機会を確保するための取り組みに期待する。 | 地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れている。 家族が入院となり身体介護が必要な方、家族からの虐待により緊急での受入に対応した。平均利用率56.8%、2020年度は、緊急受入1件。 | 緊急時の受け入れに対応しており、非常に評価できる。 | 同法人が運営している相談支援事業所にグループホームの利用者も頻繁に訪れ、日中は憩いの場としてあるいは相談に行くこともある。職員同士が常に情報の交換や相談、連絡を取り問題が生じた場合は連携して対処している。 | 法人の特性を活かした職員同士の連携や、介護保険事業所との連携も図られており、評価できる。 | 利用者10名は外部の日中活動サービスを利用することとなっているが、精神面や身体状況だけでなく、天候によっても急に休みことがある。10名中3名は特にGHで過ごすことが多い。（内2名は車イス） |
| 2 | 野田市（ソーシャルインクルーホーム野田上花輪） | 家族の来訪については、積極的に受け入れている。事業があり来訪できない家族には、電話にて近況報告をしている。地域住民との交流については、町内会のイベント参加を検討していたが、コロナの影響や時間的な問題で実施できていない。現在、実習生やボランティアの受け入れはできていないが、積極的に受け入れたいと考えている。 | キャリア教育の一環として中学生の職場体験学習等にご協力いただきたい。感染症の状況を見ながら、地域に開かれた運営及び実習生の受け入れに積極的に取り組むよう要望する。 コロナ禍で近隣住民との交流が難しい状況だが、管理者だけでも自治会と連携できるとよい。コロナ禍で利用者の家族の訪問が難しい状況だが、「〇〇通信」のような形で写真等が見れると安心できるので検討されたい。 | 建物の構造上、女性用の短期入所のみとなっているが、積極的に受け入れを行っている。新たに2名の方が利用した。緊急的な受け入れは現在ないが、家族の状況や、本人を取り巻く環境の変化等による緊急・一時的な受け入れは、対応していく。 | 本人及び家族の安心のためにも、緊急時の受け入れを積極的に行うよう要望する。 困難ケースへの対応マニュアルを用意しておくことよい。緊急受け入れに関して困難ケースがあった場合は、基幹相談支援センターに連絡をいただきたい。 | 相談支援事業所とは随時連絡が取れる体制であり、障害特性による対応方法での不明点を教えてもらっている。ホームからは本人の状態を細かく相談事業所へ提供している。日中活動サービス事業所に通所している場合は、連絡帳を活用し、体調・通院状況・服薬情報等の情報共有をしている。 | 相談支援事業所との連携がしっかりとれていることは評価できる。 | |
| 3 | 松戸市（あおば） | 家族は常に来訪可能で、入居者の居室に出入りをしている。また、各住居は町会に入会し、ごみ当番等を担当している。 実習生を、10名受け入れた。 | 家族の出入りや町会のごみ当番も可能な限り利用者が担当し、町会へのイベントの参加を検討する等、地域との交流につながる取り組みを行えている。 助言として、GHの内部が地域の人目に触れるよう、ボランティアの受け入れを検討されたい。 | 父親が入院手術をするため、母親が付き添うこととなり、その間短期入所を利用した。（短期入所利用者：35名） | 年間の受け入れ延人数から、稼働率も適切であり、緊急・一時的なセーフティーネットとして機能している。 | 他のGHに入居を予定していたが、そのGHの開所が遅れ、行き場を失った利用者について相談支援事業所から連絡があり、入居までの器官、当該法人のGHの短期入所を利用した。 | 他法人の相談支援事業所とも連携がとれており、サービスが事業所側の都合にならないよう努めている。 | 2階3階が居室のため、体調不良時には支援者がすぐに対応できるよう、1階に静養室を用意している。機械浴槽がある。車イスでもすれ違えるよう廊下が広く、スロープも設置。防犯カメラを設置し、非常時にすぐに確認できるようにしている。 |
| 4 | 木更津市（オーシャンテラス） | 地区自治会に加入し、地域の行事等に積極的に参加する。当法人が企画するお祭りやクリスマス会等で、利用者と家族、地域の方等とのふれあいの場を提供することとしている。地域の清掃活動に参加している。 | 引き続き、利用者のニーズに対応した支援に努めていただきたい。 | 職員の資質向上を優先しているため、受け入れをしていない。 | 短期入所を利用したいという対象者、家族のニーズもあることから、柔軟に対応していただきたい。 | 利用者の余暇活動の充実に向け、相談支援事業所や移動支援事業所と連携を取りながら進めている。 | 引き続き、相談支援事業所等と連携を取っていただきたい。 | |
| 5 | 八千代市（ソーシャルインクルー八千代村上） | 家族の来訪については、積極的に受け入れている。事業があり来訪できない家族には、電話にて近況報告をしている。地域住民との交流については、町内会のイベント参加を検討していたが、コロナの影響や時間的な問題で実施できていない。現在、実習生やボランティアの受け入れはできていないが、積極的に受け入れたいと考えている。 | 現在は、感染症のリスクがあるが、状況に応じての対応をお願いしたい。 利用者も地域に参加するため、スタッフがまず地域とのつながりを持つなど工夫してみていただきたい。 | 男性、女性共に短期入所の受け入れを積極的に行っている。毎月1名以上の利用者がある。 他事業所にて暴力をふるってしまい退去、入院対応となったが、病床が空くまでの3日間を短期で利用。 | 引き続き、ニーズの把握をし積極的な受け入れをお願いしたい。また、緊急時における困難を伴うケースについても可能な限り対応をお願いしたい。 | 相談支援事業所とは随時連絡が取れる体制であり、障害特性による対応方法での不明点を教えてもらっている。ホームからは本人の状態を細かく相談事業所へ提供している。日中活動サービス事業所に通所している場合は、連絡帳を活用し、体調・通院状況・服薬情報等の情報共有をしている。 | ご本人への支援に相談支援事業所や日中活動先との連携は必要不可欠であるため引き続き十分に行っていただきたい。また、行政や基幹相談支援センター等との連携も行うよう努めていただきたい。 | |
| 6 | 木更津市（グループホームふわふわ木更津貝淵） | 感染症拡大のため見合わせ中。 | 社会情勢を鑑みて、地域に開かれた運営を行っていただきたい。 | 地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れている。延べ24人。家族の緊急入院のため、緊急受け入れ実施。 | 対象者、家族のニーズもあることから、柔軟に対応していただきたい。 | 月に1回以上連絡を取り、支援会議などを実施している。 | 引き続き、相談支援事業所等と連携を取っていただきたい。 | |